ホテル エーゼット
HOTEL AZ だより 2025年 夏編
Vol.21 令和7年7月号
ご自由にお持ち帰りください

福岡・糸島の旅

【平原王墓から望む日向峠の朝陽】
伊都国王の系譜上にある女王の墳墓。東の山並みを使って太陽の位置を把握する農事歴に根差した天体観測遺構で、女王が雨乞いや晴れ乞い、実りと生産に感謝する神嘗（かんなめ）祭など神事を行う場所だったと推測されます。

人・時めぐり逢い紀行⑯

福岡都心（天神・博多・福岡空港）から乗り換えなしの30分から40分で、糸島の玄関口・JR筑肥線「筑前前原駅（ちくぜんまえばるえき）」に到着します。この駅を起点にすると見えてくるのが奥糸島、西糸島と呼ばれる観光エリア。イメージしていた糸島よりも何倍も濃くて深い糸島の魅力と歩き方を観光協会の小金丸敏浩事務局長と秀峰（しゅうほう）氏に伺いました。

［発行問い合わせ］
株式会社アメイズ 福岡事務所
TEL:092-605-3321 FAX:092-605-3335
〒811-0213 福岡市東区和白丘2-3-2
令和7年7月発行 発行責任者 穴見 賢一（代表取締役社長）

福岡県 糸島市

糸島市は、博多駅や福岡空港がある福岡市の西隣にあるまち。北側には玄界灘に面した美しい海岸線、南側には脊振山系の山々が連なり、その真ん中に稲作、畑作に適した「東西の16㎞」のエリアを中心とした糸島の大地が広がります。都市の利便性と自然の豊かさが共存するまちです。

雷山千如寺大悲王院

人時邂逅（ひとときかいこう）

糸島市観光協会 事務局長
小金丸 敏浩
Toshihiro Koganemaru
1964年生まれ。福岡県糸島市出身。1989年に前原町（現糸島市）に入職後、教育総務課長、秘書広報課長、税務課長、教育部長、市民部長、経済振興部長、観光・九州大学・商工労働等担当）を経て、2025年糸島市退職。同年糸島市観光協会事務局長に就任。

糸島市観光協会 事務局長
高田 秀峰
Hideho Takada
1968年生まれ。西鉄旅行を経て、2021年、糸島市観光協会事務局長候補として入職。同年、観光協会事務局長に就任。2022年、業務執行理事兼任。2023年、一般職員に。現在に至る。「しゅうほう」のニックネームで活躍中。

代表取締役社長 株式会社アメイズ
穴見 賢一
Kenichi Anami
1970年生まれ、大分県佐伯市出身。2016年『ホテルAZ』を全国89店舗展開する『株式会社アメイズ』代表取締役社長に就任。柔道初段。趣味はロードバイク、カメラ、ラジコン（車、飛行機）。

弥生時代から2000年変わらない豊穣の大地
奇跡の循環がつなぎ続ける
糸島の田の幸、畑の幸、海の幸

穴見 糸島市観光協会にお伺いする前に、雷山など山手のエリアを少し巡ってきました。千手観音像で有名な雷山千如寺には、たくさんの参拝者がいらっしゃるのにまずびっくりしたのですが、室町時代の庭園も素晴らしいものですね。

小金丸 ありがとうございます。糸島の山巡り、山遊びとしては「糸島七山」もご紹介したいスポットです。井原（いわら）山、雷山、羽釜（はがま）山、二丈岳、女岳（めだけ）、浮岳、十坊（とんぼ）山の尾根づたいに低山歩きが楽しめます。すべて800m前後の登りやすい山です。

秀峰 糸島富士と呼ばれる可也（かや）山もありです。山頂に夕陽が落ちる光景はダイヤモンド糸島富士と呼称されるほどきれいなんですよ。

ダイヤモンド糸島富士（可也山）

穴見 夕陽というと桜井二見ヶ浦（夫婦岩）あたりを真っ先に思い浮かべるのですが、そこはまだ糸島の魅力の入り口なんですね。

秀峰 そうなんです。じつはヤシの木ブランコ（ざうお本店）などの映えスポットやオシャレなカフェレストランが並ぶハワイリゾートのようなエリアの中心は福岡市西区なんです。糸島人気に火が付いたのは海沿いにカフェやレストランを作ってくれた民間の方たちのお陰です。糸島市は二見ヶ浦の鳥居から先なので、もっと奥のほうまで来てもらって、糸島を丸ごと堪能していただきたいと思っています。先ほどご紹介した山手のほうを「奥糸島」、鳴き砂の姉子の浜などがある西側の二丈地域を「西糸島」と名称を決めて、近郊のリピーターや遠方からの来訪者が何度来ても見尽くせない、食べ尽くせない、遊び尽くせない糸島観光づくり、発信をめざしています。

穴見 糸島観光は奥が深いということですね。それにしても糸島の隆盛は糸島市が主導されていたとばかり思っていたので意外でした。

秀峰 福岡市は財政にゆとりがあるので、二見ヶ浦までの道路は電線地中化、カラー舗装ですし、お店もどんどん建ってリゾート化されています。ところが両市の境を越えたあたりから電線が現れ始め、同じ海沿いでも手つかずの自然の風景に変わってきます。観光客の方には市の境界は関係ないのですが、福岡側の近未来的な風景と糸島の自然風景とのギャップを体感できる場所として、逆に面白い名所になるのではないかと思っているんです。

穴見 パンケーキやジェラートなどの映え写真を撮るのが好きな人たちからすれば、新しいスポットとしてウケるかもしれませんね。

秀峰 福岡市との対比を色濃く出す作戦です。「映えないものは美味い！」という切り口もアリだと思います（笑）。たとえば、赤身系の海鮮丼のように映えるわけではないのですが、糸島の真鯛は美味しいんです。実際に糸島の天然真鯛の漁獲量は日本トップクラスなんです。

穴見 そうなんですね。食材としては糸島の野菜も「糸島野菜」として知られていますよね。

「古事記」神話の中心舞台だった!? 隠れた有力説「糸島天孫降臨説」

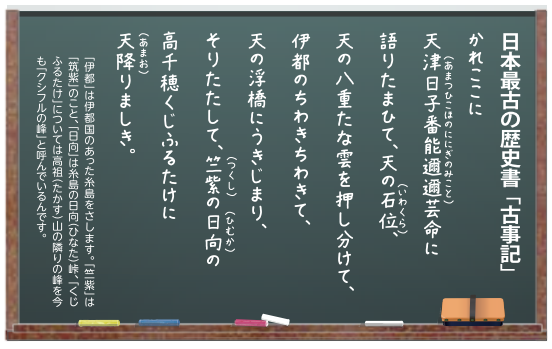
秀峰 農産物、海産物は糸島の誇るべきものの一つです。糸島には弥生時代に「伊都（いと）国」という国があり、米づくりもこの伊都国から始まったことをうかがわせる史実が残っているんです。

穴見 弥生時代というと、紀元前です。そんなにさかのぼるのですか？

秀峰 稲作文化が日本に到来するのが紀元前500年とされ、糸島にはこの時期に米づくりが始まったことを示す「石崎曲り田遺跡」があります。さらに特筆すべきなのが、1965（昭和40）年に発見された「平原弥生古墳」です。ここに埋葬された女王が「古事記」に記された玉依姫（タマヨリヒメ：神格名を「オオヒルメノムチ」）といい、稲作のための雨乞いや晴れ乞いの祭祀を司っていました。この女王は天照大御神（アマテラスオオミカミ）の系譜であるという説があるんです。

穴見 天照大御神ですか？

秀峰 「古事記」のなかに天照大御神の孫にあたる瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）が降り立った地の描写があります。それが糸島の地形とピタリと符合するんです。「天孫降臨九州北部説」といって、じつは学術的にも有力視されている説なんです。



穴見 同じ地名が糸島にあるんですね。

秀峰 100年くらい前まで、ひいおじいちゃんの世代くらいまでは高祖（たかすが）山のことを「高千穂」と言っていたという話もよく耳にします。

穴見 高祖山の「高祖」も遠い先祖という意味がありますし、いろいろ想像がふくらみますね。

秀峰 もちろんこの説が正しいと断定はできません。いろいろな説があるからこそ、古代への想像旅行をするのも糸島ならではの時間の楽しみ方ではないでしょうか。

穴見 「伊都国歴史博物館」に立ち寄ってきましたが、平原王墓からは、日本最大の銅鏡をはじめとして、国宝になっている出土品がたくさん展示してあって圧巻でした。

秀峰 女王の副葬品として銅鏡だけでなく勾玉（まがたま）と剣も見つかりました。三種の神器です。そして、この遺跡は地形や昔から伝わる山並みの名称などを総合的に検証し、墳墓であるとともに農事歴に根ざした天体観測遺構であると結論づけられています。

穴見 農事歴とは何ですか？

秀峰 昔の人々は月の満ち欠けなど天体の動きに注目し、それを農作業の目安としてきました。水稲では田植えの時期や稲刈りのタイミングが重要です。伊都国（糸島）では日の出の位置で稲作が行われました。毎年10月20日は、天照大御神に新穀を捧げる神嘗祭（かんなめさい）が伊勢神宮で行われますが、この日は、日向峠から差し込む朝日が古墳に埋葬されていた女王の足元から頭へまっすぐに差し込むように設計されています。

穴見 神秘的ですね。糸島の旅は日本人としてのアイデンティティも実感できそうです。

奇跡の循環、美味しいものには、歴史（ワケ）がある

秀峰 糸島野菜の歴史も弥生時代にさかのぼると考えられています。雷山をはじめとする脊振山系の山々からミネラル豊富な水が流れ出して大地を潤し、山の栄養分を含んだ水が海に流れて、海の栄養となり、豊かな漁場をつくります。海のミネラルは潮風に乗ってまた山へと戻るという自然の営みは「奇跡の循環」と呼ばれています。また、山の付け根から平地まで16㎞四方のバランスがとても良いらしく、「奇跡の16㎞」と評されます。

穴見 肥沃な大地、豊かな海は弥生時代からの贈り物と考えると、美味しさも倍増しそうです。糸島野菜にはどんな種類があるんでしょうか？

小金丸 いろいろなものが育ちます。4月くらいまではブロッコリー、5月に入るとアスパラガス、夏はピーマン、ナス、トマト、秋は米、柑橘、イチゴなどのフルーツ、冬は葉物ですね。海の幸としては天然の真鯛が全国トップクラスの漁獲量を誇ります。5月から漁が解禁になり、9月、10月までが脂が乗って最高に美味しい時期。今年の7、8月には真鯛を堪能するバスツアーを実施します。漁師さんによると、5月あたりは産卵後で痩せているのでお勧めではないということですが、カルパッチョなどは脂がのってない時期のほうが美味しいらしいですよ。12月に鯛が禁漁になったあと、冬期はカキ小屋が始まるので、海のものも年間を通して堪能できます。地元だからこそお手頃価格で提供できるのが強みです。

穴見 その土地、その時期ならではの獲れたてをいただけるというのは何よりの贅沢です。

小金丸 「身土不二（しんどふじ）」といってカラダと土地は切っても切れない関係にあり、その土地で採れた旬の食材を食べるのは、健康に良いという考え方があります。せっかく糸島に来られたお客様に地元の旬のものを口にして、楽しく健康になっていただけるように、観光協会としても糸島の食材を使う飲食店を積極的にアピールしていきます。

体験型旅行で、糸島の海、山を楽しく、美味しく、深く知る

秀峰 市内に姫島という島があり、秋から春にかけて身がフワフワで美味な70㎝級の本サワラが獲れます。人口が減少していて飲食店が進出するのは難しい島なのですが、この本サワラを観光客の方に味わってほしくて、ツアーを立案中です。

小金丸 5月5日の子どもの日には観光事務局主催で、深江海水浴場でバーベキュー付きの地引網体験イベントを開催しました。船で沖へ出て網を張り、みんなで砂浜で網を引くというものです。今回はイカのなかでも最高級とされるアオリイカが70杯、他の魚も獲れて大豊漁。100名以上の参加者がイカを一家族2杯ずつ持って帰られました。

穴見 その地引網イベントは以前、私の知人も参加したと聞いたことがあります。自然を満喫できて、地元ならではのものと触れ合う体験ができるのは、糸島観光の魅力ですね。

秀峰 深江海岸から箱島という島まで約4㎞をSUP（サップ）でインストラクターとのんびり渡るプランもあります。途中に誰も入れないような砂浜が2、3カ所あって、立ち寄って休憩でき、漂流アドベンチャーのような旅ができます。小学生以上対象です。すでに糸島のファンになっていただいているお客様はたくさんいらっしゃるので、そうしたお客様がさらに新鮮に感じていただけるような新しい切り口での観光地化を加速させています。

古くて新しい糸島再発見の旅

穴見 開発されたものも良いですが、糸島の変わらない原風景のなかで新しい旅ができるということですね。

小金丸 糸島というとドライブのイメージですが、車がなくても満喫できる観光づくりを強化中です。たとえば、先ほどご紹介した夏の真鯛を味わうバスツアーは、JR筑前前原駅集合です。観光スポットをタクシーで効率よく回れる観光タクシープランもご用意しています。時間や行きたい場所などお客様のご希望を反映させながら、コースは私ども糸島市観光協会でお作りできます。若い女性層にも人気があって、手応えを感じているところです。

穴見 オーダーメイドの旅もできるんですね。

秀峰 当観光協会は「地域限定旅行業」の認定を受けているため、募集型ツアーや観光タクシーの活用、路線バスを使ったモデルプラン作成、手配代行が可能なんです。

穴見 「地域限定旅行業」というものがあるんですね。

秀峰 はい。営業所が所在する市町村と隣接する市町村を範囲とするエリアに限定して、地域の観光資源を活用した旅行商品や体験プログラムを企画・販売することができる旅行業の一種です。地域の観光資源を活用した着地型観光の推進を目的とするもので、2013年に創設されました。観光タクシーであれば、ホテルAZさんに迎えに行くこともできますよ。

穴見 糸島に泊まらず、福岡に泊まってもオプショナルツアー的に糸島を楽しめるわけですね。糸島のことは知っているつもりでしたが、天孫降臨のお話を含めて今日は初めて見聞きすることばかりでした。私たちも変わる糸島だけではなく、変わらない糸島と伴走しながら少しでも地域に貢献できるホテルでありたいと思います。

国宝の山！ 伊都国歴史博物館

「伊都国」ロマンあふれる展示室

「内行花文鏡」をデザインしたJR筑前前原駅の壁面ステンドグラス

平原王墓からは三種の神器である鏡、勾玉（まがたま）、剣をはじめ約2000点が出土。そのすべてが国宝に指定されています。中でも「内行花文八葉鏡」は伊勢神宮に伝わる記録によると同神宮にある皇室所有の八咫鏡（やたのかがみ）と大きさも形状も一致。伊勢神宮の八咫鏡はこれまで一度も公開されていませんが、「内行花文鏡」は博物館で間近に見ることができます。

糸島産にこだわった産直店が散在

JA糸島産直市場「伊都菜彩」をはじめ、糸島産にこだわった野菜、肉、魚、花卉（かき）類の直売所が市内に点在しています。糸島商店街でも「寄り合い処」という小さなオープンスペースに新鮮な野菜や手作りおはぎを発見！ 美味しいものがあふれるまちです。

伊都菜彩

糸島商店街寄り合い処

もっと西へ！ 山手へ！ 懐深い糸島のグルメスポット

糸島市観光協会の秀峰さんが「おススメしたいグルメスポットがたくさんあって絞りきれない！」というほど糸島は食べ処の宝庫。地元の旬の海の幸、山の幸はもちろん、ハム・ウインナーの加工品、地ビール、伝承手法にこだわった醤油、酒造、塩などいろいろなものが地元で生み出されています。糸島は福岡県民のソウルフード「牧のうどん」発祥の地でもあります。

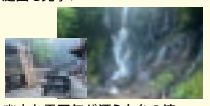
海水を引いた生け簀がある「朝日屋」の海鮮丼。お醤油も独自ブレンドしているそうです。

朝日屋から日本最大の玄武洞窟「芥屋の大門」遊覧ができる船着き場まですぐ。このエリアにも食事処が並んでいます。

「水火雷電神」という神様がいる雷山

雷山の「雷」は「神鳴り」に通じ、山全体が「水火雷電神」という神である霊山として信仰の対象となっています。「千如寺大悲王院」の木造千手観音像（463.6cm）や樹齢400年といわれる大カエデが配された庭園も見逃せないスポット。お隣の羽金（はがね）山にある白糸の滝ではそうめん流しややまめ定食が楽しめます。

千如寺の枯山水庭園と池泉鑑賞式庭園も見事！


幽玄な雰囲気が漂う白糸の滝

2025年 糸島旅行

【7～8月】
最高に脂ののった真鯛をいただくツアー

【秋～春】
姫島で身がフワフワの本サワラをいただくツアー

【通年】
SUP（サップ）ツアー
小さなお子様から年配の方まで幅広く楽しめます！

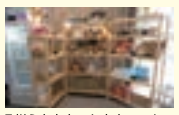
【10月下旬～翌年4月ころまで】
牡蠣小屋

【5月】
糸島地引網
&
バーベキューランチ

JR筑前前原駅を降り立ってすぐ！

気軽に観光相談できる糸島市観光協会

糸島の観光地への行き方や店舗の場所などお気軽にお尋ねください。レンタサイクル、路線バスや観光タクシーを使った旅のプランニングもお任せ。また、お土産コーナーには糸島の農産物、海産物、畜産物の素材にこだわった加工品がバラエティー豊かに並びます。糸島市観光協会オリジナル商品『糸島カキめんべい』も好評です！


品揃え充実中のお土産コーナー

電動アシスト自転車とクロスバイクがレンタルできます